岩高文放第 15 号
平成 23 年 9 月 12 日

各高等学校長　様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長　　髙　橋　　隆
(盛岡市立高等学校長)

第 34 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 29 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて，下記のとおり標記大会を開催いたしますので，貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう，お願い申し上げます。

記

1　日時　　平成 23 年 11 月 8 日(火)　　9:00～17:00
2　場所　　岩手県民会館　中ホール他　〒020-0023 盛岡市内丸 13-1　　電話 019-624-1171
3　その他
開催要項・参加手続き，ならびに制作・審査規定については，別紙をご覧ください。
参加申込書・各種様式等は，放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

http://www2.iwate-ed.jp/housou/

大会事務局　岩手県高文連放送専門部事務局
〒020-0053 岩手県盛岡市上太田上川原 96
盛岡市立高等学校　鈴木勇二
y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp
電話 019-658-0491　fax. 019-658-0883
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

第 34 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 29 回岩手県高等学校放送新人大会　開催要項

1．目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して，校内放送をとおし番組の制作技術の向上，表現力，創造性の開発および，豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は，岩手県高等学校総合文化祭の一環，ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2．主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3．共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4．主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5．後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6．日時

平成 23 年 11 月 8 日(火)　9:00～17:00

詳細については，後日参加校に実施要項を送付する。

7．会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1

電話 019-624-1171

8．開催部門とエントリー数

(1)アナウンス部門　各校 6 名以内

(2)朗読部門　各校 6 名以内

(3)オーディオピクチャー部門　各校 2 本以内

(4)ビデオメッセージ部門　各校 2 本以内

(5)ラジオキャンペーン部門　各校 2 本以内

(6)テレビキャンペーン部門　各校 2 本以内

9．審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10．表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…
全国総文祭・東北大会推薦

優良賞　3　賞状…東北大会推薦

入選　6　賞状…東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…全国総文祭推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)

優秀賞　1　賞状・副賞(楯)

優良賞　2　賞状

全国総文祭推薦は，オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優秀賞　2　賞状・副賞(楯)…東北大会推薦

優良賞　3　賞状…東北大会推薦

第 29 回新人大会に限り，テレビキャンペーン部門の上位校を第 36 回全国高総文祭富山大会 CM 部門へ推薦する。推薦は，希望校のうちオーディオピクチャーとビデオメッセージの代表以外の上位 1 校とする。

いずれの部門も，エントリー数によって表彰数を変更することがある。

11．各種規定

制作・審査規定，各種様式等は，別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

12．エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。エントリー後の変更は認めない。

13．その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別，入賞者の成績)については，大会の実施，主催者に関連する記録物(印刷媒体，ウェブサイト，放送等)，大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については，著作隣接権を含め，権利者の許諾を得るとともに，制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは，放送等で公開されることがある。制作にあたっては，番組に登場する著作物の著作者や出演者，協力していただいた方々などから，公開の承諾を得ておくこと。

別表　手続一覧

	内容･方法	締切
エントリー手続き	**参加申込書**…放送専門部のウェブサイトからダウンロードし，**メール添付で事務局に送付すること**。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp	10月18日(火) 正午必着
	参加料…**各部門とも1名(1本)につき，1,000円。次の口座に学校名で振込む**。 岩手(いわて)銀行　上田(うえだ)支店　普通　2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長　髙橋隆(たかはしたかし) 振込手数料は各校負担，参加料の領収書は銀行発行のものとする。	
提出物	**アナウンス部門･朗読部門**…原稿3部 **オーディオピクチャー部門**…台本3部 **ビデオメッセージ部門**…台本3部 **ラジオキャンペーン部門**…台本3部 **テレビキャンペーン部門**…台本3部 原稿・台本等の各種様式は，制作･審査規定を参照し，放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。	11月7日(月) 正午必着
	オーディオピクチャー部門…CD 1枚，CD-ROM 1枚，バックアップ(カセット) **ビデオメッセージ部門**…DVD1枚，バックアップ(VHS) **ラジオキャンペーン部門**…CD 1枚，バックアップ(カセット) **テレビキャンペーン部門**…DVD1枚，バックアップ(VHS) バックアップテープは当日代表生徒が持つこと。	11月8日(火) 会場に持参

※　理事ならびに引率顧問の皆様には，運営と審査を分担していただきます。
運営・審査をお願いする皆様には，当日の昼食を準備いたします。
実施要項(エントリー番号，係分担，日程の詳細等)は，エントリー確定後，連絡いたします。

大会事務局
〒020-0053 岩手県盛岡市上太田上川原96
盛岡市立高等学校　鈴木勇二
y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp
電話 019-658-0491　fax. 019-658-0883
http://www2.iwate-ed.jp/housou/

第29回岩手県高等学校放送新人大会　制作･審査規定

1．アナウンス部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。

ア　第59回NHK杯全国高校放送コンテストの規定：自校の校内放送に使用するものとし，原稿を生徒が自作したものに限る。

イ　第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)の規定：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお，新人大会と東北大会では，静止画は使用できない。

(2)規定時間　エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし，それらを含め，1分10秒以上1分30秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式1-1，2ページは様式1-2，3ページ以降は様式1-3による。

イ　原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし，仕上りA5縦判・右2カ所留めで，3部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ　アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア　出場者は，概ね30名ずつの会場に分かれて，エントリー番号順に発表を行う。

イ　各会場から上位同数，計12名を決勝に推薦する。

2．朗読部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア 第59回NHK杯全国高校放送コンテストの指定作品の中から1編を選び，自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

①「銀の匙」中勘助(岩波文庫)

②「ひとり暮らし」谷川俊太郎(新潮文庫，収録作品のいずれも可，原稿には短編名を記載し，発表時に述べること)

③「さがしもの」角田光代(新潮文庫，収録作品のいずれも可，原稿には短編名を記載し，発表時に述べること)

④「人間の土地」サン・テグジュペリ著，堀口大學訳(新潮文庫)

⑤「徒然草」吉田兼好(現代語訳不可，出版社不問)

イ 第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会)の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお，BGMは使用できない。

(2)規定時間　エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)，氏名(学校名を読まない)，著者名(訳者名は読まない)，書名(ア②・③は短編名)を読むこととし，それらを含め，1分30秒以上2分00秒以内。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。

ア　表紙は様式1-1，2ページは様式1-2，3ページ以降は様式1-3による。

イ　原稿の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし，仕上りA5縦判・右2カ所留めで，3部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ　朗読の技術

(a)内容表現上，声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア　出場者は,概ね30名ずつの会場に分かれて,エントリー番号順に発表を行う。

イ　各会場から上位同数,計12名を決勝に推薦する。

3．オーディオピクチャー部門

(1)内容　郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。CDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー,ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間　5分以内

(3)音声制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　CD-DA形式でCDを作成する。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　CDとケースには,エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の最後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ　クレジットコールを含め，1つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールにはBGMや効果音をつけないこと。

キ　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

ク　バックアップ用のカセットテープには,CDと同じ内容を,A面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(4)静止画制作様式　次のア～オにより制作する。

ア　CD-ROMに使用順の数字を付したJPEGファイルを納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ　CD-ROMとケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による),学校名とタイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　静止画像は25画像以内，総容量100MB以内，サイズはXGA(1024×768ピクセル)での投影とする。

エ　静止画はパソコンからビデオプロジェクタ1台で投影する。パソコンの操作は，発表校が行う。

オ　静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer

動作OS: WindowsXP/Vista

使用方法

・CD-ROMのフォルダを開く

・1枚目の画像を右クリック→「プログラムから開く」→「Windows Picture and FAX Viewer」

・1枚目の画像表示後「F11」キーを押す

・画面右上の「一時停止」マークを押す

・カーソルを画面外に動かして表示されないようにする

・「→」または「Enter」キーで次の画像に切り替える

・終了時には「Esc」キーを押す

・WindowsXP/Vista以外のOSの場合はSusieによること(www.digitalpad.co.jp/~takechin/)

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JISコードの範囲内の全角15文字相当以内とする。

イ　表紙は様式3-1，2ページは様式3-2，本文は様式3-3による。

ウd　最終ページは様式4により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書，JASRACの明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさはA4横を二つ折り・袋とじし，仕上りA5縦判・右2カ所留めで，3部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音・撮影の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

4．ビデオメッセージ部門

(1)内容　郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2)規定時間　5分以内

(3)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　DVD-Video 形式で DVD を作成する。解像度は NTSC720×480 ピクセルとし，映像の再生は 4：3 画面で行う。(サイズ内でのワイド画面のレターボックス表示は行ってもよい。)バックアップ用として同じ内容を録画した VHS テープ(標準モード，Hi-Fi 音声)を大会当日持参する。。

イ　DVD とケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)･学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　音声の再生は，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に 10 秒間ずつ，様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(4)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2，本文は様式 3-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし，仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで，3 部作成する。

(5)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

5．ラジオキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード「再発見」

普段は当たり前と思っていることや普通に目にしている物(または人)でも，その由来を調べたりじっくり観察したりすると，「再発見」(それまで気付かなかったよさをあらためて認識すること)があるものです。そんな「再発見」を紹介して，みんなの身の回りから「再発見」を探してみようというキャンペーンをしてください。

(3)規定時間　30 秒以上 1 分以内

(4)制作様式　次のア～ケにより制作する。

ア　CD-DA 形式で CD を作成する。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ　CD とケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)･学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　再生は，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3 秒後に本編を開始する。

カ　本編の最後の音から 3 秒後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ　前後のクレジットコールを含め，1 つのトラックにまとめる。なお，クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部･委員会)でした」の「せ」の音までとし，その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ　バックアップ用のカセットテープには，CD と同じ内容を，A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 2-1，2 ページは様式 2-2，本文は様式 2-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし，仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで，3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6．テレビキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード　「再発見」

普段は当たり前と思っていることや普通に目にしている物(または人)でも，その由来を調べたりじっくり観察したりすると，「再発見」(それまで気付かなかったよさをあらためて認識すること)があるものです。そんな「再発見」を紹介して，みんなの身の回りから「再発見」を探してみようというキャンペーンをしてください。

(3)規定時間　30 秒以上 1 分以内

(4)制作様式　次のア～カにより制作する。

ア　DVD-Video 形式で DVD を作成する。解像度は NTSC720×480 ピクセルとし，映像の再生は 4：3 画面で行う。(サイズ内でのワイド画面のレターボックス表示は行ってもよい。)バックアップ用として同じ内容を録画した VHS テープ(標準モード，Hi-Fi 音声)を大会当日持参する。。

イ　DVD とケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)･学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ　音声の再生は，ステレオで行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に 10 秒間ずつ，様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2，本文は様式 3-3 による。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に，音源使用許諾書，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし，仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで，3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

7．審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8．採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき，100 点法，1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20　30　40　50　60　70　80　90　100

悪い　　普通　　良い　　大変良い

(3)各審査員は，得点一覧を，会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4)各審査員は，すべての発表ごとに，講評を記載する。

9．得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は，カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は，部門ごとの審査主査と専門職審査員による審査会で行う。ただし，アナウンス部門と朗読部門の予選については，審査主査に一任する。

10．アナウンス部門・朗読部門決勝

(1)決勝進出者は大会当日の午後に中ホールで発表する。

(2)決勝のエントリー順は，無作為に指定する。

(3)決勝審査では，予選の得点を参考にしない。

11．規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお，重大な違反が判明した場合は，大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は，アナウンス部門と朗読部門は±2 秒，番組 4 部門は±1 秒とする。

(3)アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り，失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12．講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙は，各校に配付する。

(2)CD・DVD 等は，該当校に返却する。

(3)審査結果一覧は，顧問に配付する。